



東京学芸大学附属竹早小学校  
昭和 34 年卒 古希記念 同窓会・同期会

平成 28 年 10 月 1 日

古希を祝う同窓会・同期会（昭和34年卒）のお誘い

我々は昭和28年（1953）4月に竹早小学校へ入学しました。その頃に東京でテレビ放送が開始され、大相撲や紅白歌合戦等の中継が始まりました。まだ白黒放送でしたが、街頭プロレス中継で力道山の活躍に興奮し、我を忘れていました。またNHKからの依頼で子供向け番組に出演した誇らしい時間もありました。昭和30年（1955）には小学校のプール開きがあり、当時の国民的スターの古橋選手が来場され、模範水泳を披露されました。昭和33年（1958）には第3回アジア大会が開催され、テレビ中継を見るだけでなく競技場へも足を運び、必死に応援しました。それは初めて接する「世界」との出会いでした。そして、昭和34年（1959）3月に小学校を卒業しました。この年に、皇太子ご成婚パレードがあり、伊勢湾台風、黒部トンネル開通、メートル法施行等とともに、少年マガジン、少年サンデーの創刊が記憶にあります。

あれから57年、今年から来年にかけて、我々の同期も70歳（古希）という人生の節目を迎えます。古希は「七十年生きる人は古くから稀である」に由来するようです。つまり、古希を迎えることはそれ程お目出度いことと考えて間違いないのでしょうか。その生き延びてきた人生を振り返り、多くのお世話になった先生方や小学校に感謝する意味で懐かしい母校を訪ねて同窓会総会・懇親会に出席しましょう。その後、お互いの顔を確認するために「古希」を記念する同期会にも出席しましょう。どちらかの参加でも構いませんが、皆さんが集まるのが大切なことです。



小学校の同窓会で。前列左から、安田望、朝倉（三枝）祐子、居原田（澤田）愛子、田原中男、深尾一郎、吉川（大井）晴美。後列左から、渡辺健一郎、川田（宇野）純子、小川（小橋）琴子、山田（増田）陽代、森田英太郎、三浦實、田村喜望、藤原（高田）明子、井出（竹生）治子、今福秀一、加藤（秋田）圭子、樋口隆一。

安田 望さんのこんな呼びかけで始まった「古希を記念する同窓会・同期会」。

あの頃を思い出させてくれましたね。

そして、平成28年10月1日（土）14:00～16:00、竹早小学校ランチルームで同窓会が、その後、17:00から深尾一郎さんのお店である「ARGO」（東條会館9階）で同期会が行われました。会食後も席を移してディジェスティブタイムが盛り上がり、楽しい時間を過ごしました。同窓会には19名、同期会には22名が参加しました。皆さまから感想をいただいて、ささやかな報告冊子を作りました。

◆竹早小学校での同窓会で



式典の後、それぞれの卒業年度ごとにテーブルを囲んで。



平成 28 年度  
東京学芸大学附属竹早小学校同窓会  
総会・懇親会

平成 28 年 10 月 1 日 (土)  
東京学芸大学附属竹早小学校  
ランチルーム

～式次第～	
[ 総会 ]	[ 懇親会 ]
14:00 受付開始	15:00 懇親会開会
14:30 総会	ご挨拶
ご挨拶	乾杯挨拶
学校近況報告	ご挨拶
その他報告事項	15:30 余興 (オカリナ&ピアノ)
議案審査	15:35 卒業50周年の方々のご紹介
	古希の方々のご紹介
	ご賞賛の先生方のご紹介
	16:10 ご挨拶
	16:45 校歌斉唱
	閉会挨拶
	中絶
	17:00 散会

現在の竹早小学校校長、清野泰行先生。美術の先生だそうです。美術の先生が校長先生って珍しいね、と言いながら、竹早らしいなとも。



中学校では同期の竹早中学校同窓会会長、古谷顕史郎さんのあいさつ。

渡辺 茂先生作詞の歌をみんなで合唱

「たき火」

かきねの かきねの まがりかど たきびだ たきびだ おちばたき  
「あたらうか」「あたらうよ」 きたかぜびいぶう ふいている

さざんか さざんか さいたまち たきびだ たきびだ おちばたき

「あたらうか」「あたらうよ」 しもやけおててが もうかゆい



こがらし こがらし さむいみち たきびだ たきびだ おちばたき

「あたらうか」「あたらうよ」 そうだん しながら あるいてく

「キャベツのお山に」



キャベツのお山に ねずみがきました

ちよろりこ ちよろりこ チユウ チユウ チユウ チユウ

キャベツのお山は 勝手のすみっこ

ちよろりこ ちよろりこ チユウ チユウ チユウ チユウ



指揮・樋口隆一さん

ピアノ演奏・加藤(秋田)圭子さん

「ふしぎなポケット」では、ひとつ、ふたつ、みつつ…と歌うたびに、みんなのポケットから絵で描いたお手製の大きなビスケットが！楽しい趣向でした。歌詞に触れてあらためて、渡辺先生の作詞の素晴らしさを感じました。そして、竹早小には、渡辺先生にとどまらず、才能を持った先生方がおられたのだとあらためて思いました。

キャベツのお山は すべるぞ すべるぞ

ちよろりこ ちよろりこ チユウ チユウ チユウ チユウ

キャベツのお山で すべってころんで

ちよろりこ ちよろりこ チユウ チユウ チユウ チユウ

キャベツのお山に あとから あとから

ちよろりこ ちよろりこ チユウ チユウ チユウ チユウ



「ふしぎなポケット」

ポケットの なかには ビスケットが ひとつ

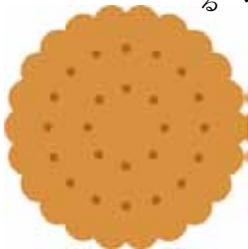
ポケットをたたくと ビスケットは ふたつ

もひとつ たたくと ビスケットは みつつ

たたいて みるたび ビスケットは ふえる

そんな ふしぎな ポケットが ほしい

そんな ふしぎな ポケットが ほしい





◆同期会は深尾一郎さんのお店、東條會館のレストラン「ARGO」で。



レストランからの眺め。  
樋口さんの撮影。

● 皆さんのアンケートから

古希を機会に久しぶりに大ぜいで集合し、うれしかったです。小学校では、伸び伸びと育てながら、大切なことはきちんと教えてくださいましたね。感謝です。(樋口隆一)

時々お目にかかっている人、久しぶりにお目にかかった人、多くの人に会えて楽しい時間でした。しばらくお話ししているとみんな小学校の時のまま。竹早に通っていた時代にタイムスリップです。同期会が終わって後、安田君が卒業式の時の資料を持ってきてくれて、6年間の行事記録をみんなで思い出してたら、半分は記憶にないことがあったけど、遠足のこと、修学旅行のことはしっかりと記憶に残ってましたね。(三浦實)

毎日の雑務から解放され久しぶりに心地良い一日を過ごすことが出

来ました。懐かしいお顔にも会え、今生きている喜びを感じました。と共にこれからも健康に気をつけ日々を楽しく過ごして行きたいと思いました。小学校の思い出といえば、おてんば娘でよくジャングルジムを男子と登りっこをし、一番に登りきったことなど思い出しました。楽しい時代でした。(居原田(澤田)愛子)

皆さんに、しばらくぶりであうことができました。あれっ、誰だっけなど戸惑いながら話していても、少しすると昔のままに戻り、ああ、あいつかと思ひ出す一瞬、これは、素晴らしい快感ですね。学校のそばだった自分の家と、校舎の変わり様を見て、時代の流れを感じましたが、話し始めると変わらない皆さんとお会いでき、その頃の思い出に、浸ることができました。(田村喜望)



● 皆さんのアンケートから

私は3年生が終わった3月に大阪に転校しましたので卒業はしていません。本来なら同窓会・同期会には出られないのですが、20年前、旧姓古西千恵子さんと旅先のドイツで劇的な再会以来、竹早の会には厚かましく参加させていただいています。小学校では、新しい校舎の入り口に男子女子の制服が展示されていてとても懐かしく感動しました。渡辺先生の歌を歌ったことにはもっと感動しました。二次会の深尾さんのお店でも楽しいひとときを過ごさせていただきました。温かく仲間に入れてくださいます。心からお礼申し上げます。

3年間の竹早小の思い出は鮮明に覚えています。いろいろな行事もそうですが、放課後ランドセルを背負ったまま、都バス都電に乗っているいろいろなお友達のお

素敵なお料理においしい  
シャンパン。  
ご馳走さまでした！



うちへ遊びに行きました。今では防犯上考えられませんが、制帽をかぶった小さい小学生が学校とは違う方向から乗り物に乗ってきて、周りの大人も、特に気にも留めない穏やかな時代だったのでしょう。いつも竹早の方々との集まりに出て思うことは私も6年生までいたかったと思います。半分だけの思い出ですが私の大切な小学校の思い出です。  
(井出(竹生) 治子)

久しぶりに皆さんの顔を拜見でき、楽しかったです。安田君に感謝です。ありがとうございます。  
(朝倉(三枝) 祐子)

久しぶりにお会いでき、楽しい時間を共有できました。お話ししているうちにだんだんと昔のままだと感じられ、小学校の時に戻ったようでした。(加藤(秋田) 圭子)



皆さんのアンケートから

記念の古希の会を、懐かしい同級生達とお祝いできたことが本当に嬉しく、とても楽しい会でした。何十年会わなくても一瞬にして当時から、温かい気持ちになるのはすばらしいことです。幹事をしてくださった安田さんに改めてお礼申し上げます。私は、5年生で公立小学校からの転入生でしたが、当時立派な校舎、施設、広い校庭、きれいなプール等々、そして個性豊かな同級生達と、あまりにも違いが大きく馴染めないこともありましたが、今振り返ってみるとどれもこれも良い思い出になっています。

〈土屋〈関根〉由紀子〉

卒業以来2度目の同窓会出席でしたが、予想以上に出席者があり驚きました。夜の部は深尾君のおかげで、素晴らしい料理

と部屋が用意されゆったりとした良い同期会でした。

小学校の思い出は2つあります。私は2年の初めに香川県高松から引っ越してきて転入したのですが、最初にびっくりしたのは音楽の授業です。授業の初めにピアノで和音を弾き、ドミソとかなんとか言うのですが、全然わからず皆が一斉に答えを言うのを聞いてとんでもないところに来たと思いました。2つ目は算数です。ご存じの通り香川県は教育熱心な県ですが、なんと竹早の2年の算数の授業は、高松の1年の授業と全く同じでした。つまり既に終わったことをもう一度やり直した感じです。〈田原中男〉

楽しい時間を過ごすことができました。〈山本忠志〉



#### ● 欠席の方の近況報告から

重症筋無力症と診断されて、早くも23年になりました。その間にはいろいろ大変で、フル勤務は無理と思い、参議院議員の政策担当秘書を退職。一貫して看護の道を歩んできましたが、早くも51歳で一線を退きました。今は体力を回復し、新たな使命を主人のライフワーク「沙漠化防治活動」を応援（日本バイオビレッジ協会事務局長）して、17年です。活動現地は中国内モンゴル自治区の沙漠地。1年の半分を現地、半年を東京と行ったり来たり生活でした。習近平体制になってからは活動がやり難くなり、体力の限界も感じ、昨年からは止めました。この間に病気との関係の本を2冊、医学書院から出版しています。

◎『患者になってみえる看護く難病が教えてくれたこと』  
1996 発病後3年半の状況

◎『看護は私の生き方そのもの』  
2013 発病後20年間の経過

沙漠化防治活動においては、2013年2つの賞を受賞しました。

◎第10回ヘルシーソサエティー賞ボランティア国際部門  
（日本看護協会・ジョンソン&ジョンソンKK）

◎第1回ゆとりぎ賞（片倉もと子沙漠文化記念財団）  
体力も衰え、外見も変わりましたが、古希とは思えず、今も20代後半くらいの感覚です。皆様のご健康と、古希の会のご盛会をお祈り申し上げます。（長濱（阿部）晴子）

9月後半から10月6日まで米国テネシー州ナッシュビル市との文化交流で、演奏、トーク、ワークショップ！の話をお受けしましたので、すみません、欠席です。

長唄の三味線方として 昭和43年名取りになり、子育て半ばの40歳で演奏家に仲間入りし、国立劇場、三越劇場、紀尾井小ホールなどに出演し、明治神宮の奉納演奏を体験したり、また、この数年は 杉並区立中学の音楽の授業の講師やら、長唄クラブのある学校の部活コーチなどもしてまいりました（お蔭様で10月17日国立劇場で長唄協会から永年功労者で表彰されるそうです）。海外演奏は、ドイツで10年前と2年前でした。渡米は演奏では初めてでして、他に琵琶の人、お琴の人、日舞の方々とはゾロゾロ行きます。古希も一生に一度ですが、このような交流会の仕事も減多に來ないかな？とお引き受けした次第です。（箱崎（古西）千恵子）

現在、母が94歳になり、元氣ですが何かと手がかかるようになりまして、家を空けることができません。卒業以来、一度もお会いしてない方も多く、お目にかかり懐かしくお話ししたいなあと思うのですが。出雲に住んで20年になり、地元合唱団に所属し楽しんでおります。山陰にお出かけの際には是非ご一報ください。喜んでご案内いたします。（矢野（吉田）典子）



2016.10.1

《逝去された方々》

鈴木 勝男先生…1999年1月11日  
渡辺 茂先生…2000年8月2日  
比護 繁先生…2011年  
角尾 和子先生…2014年6月3日  
矢島 健治君…2006年頃  
寒川(中村) 真理さん…2006年11月21日  
田中(高野瀬) 順子さん…2009年9月  
衛藤 靖君…2013年9月22日  
内藤(小笠原) 恵子さん…2015年2月  
澤田 昌夫君…2015年8月24日  
今井 和憲君  
谷池 千之君  
野秋 光寿君

—————ご冥福をお祈りいたします。

---

編集後記のような：

古希記念の同窓会・同期会にご出席の方にアンケートをお願いし、送ってくださった文をもとに、安田さんにご相談しながら、このささやかな報告ノートを作りました。大変遅くなりましたこと、ご容赦ください。また、欠席の方の近況報告からも勝手に掲載させていただきました。写真は、同窓会事務局、三浦さん、私、また、樋口さん・深尾さんのフェイスブックから勝手に取って使わせていただきました。また、最後のページの写真は、私のアルバムから取ったので偏っていますみません。でも、真理ちゃんの写真があつて、懐かしく、ちょっと悲しくなりました。このささやかな冊子が竹早小の仲間を思い出すきっかけになれば幸いです。

藤原(高田) 明子